

# エコアクション21の活動を通して 新しい業態へ挑戦するチカラを得ました

木下緑化建設株式会社(福岡県福岡市)

会社創設から40年以上にわたって、福岡県はもちろん九州一円、さらには本州の一部もその範囲として、造園活動を続けてきた木下緑化建設株式会社。これまで公共事業を中心に多くの公園、街路や公共施設の緑化を行ってきた同社も、もうすぐ節目の50年を迎えますが、少子高齢化の社会が進む中、公園や街路整備においては、量の時代は終わったといえます。

緑を造るだけでなく、緑を通じて地域のコミュニケーションまでデザインできるような仕事が必要とされる時代、屋上緑化・壁面緑化といった特殊緑化技術にも豊富な経験と実績のある同社は、環境に配慮した「提案型総合緑化空間創造」に取り組み、指定管理者業務でも福岡市の松原運動公園などを運営しています。

今日まで築き上げてきた実績と技術力を活かして、これからの社会が必要としている緑地・空間づくりをめざしている同社。その提案の力になっているのがエコアクション21であり、環境報告レポートだと話す木下社長。そこから導入時の昔話や、エコアクション21らしい成果など、いろいろ教えていただきました。



代表取締役社長 木下 浩市

## 契機

### 「環境といえば木下緑化」と言われるために

本業ではISO9001を取得していましたが、品質に関するしきみはできていました。ただ、経済の低迷から業績も苦しくなり、品質だけではなく、他に求心力となる何かを模索していたときです。環境を考えるべきなのではないだろうか。ちょうど地域事務局の方にも「やってみらんか?」と声をかけられていましたし、会社を取り巻く状況も厳しさを増していましたから...これから何で勝負していくと考え、「環境といえば木下緑化」と言われるようにしていきたい、そのためのエコアクション21導入でした。

### 環境活動を継続する意識づくりに少し苦勞したかもしれません

他の業務との絡みもあって、事務処理に煩雑さを感じているのは確かです。しかし、苦勞というものではありません。たとえば環境報告レポートの作成は、社員のスキルアップにつながりますし、それが優秀な出来映えで表彰などされれば、周囲に対するアピール=PRツールとして使うこともできます。ただ、こうしたメリットを理解して、環境活動を継続していこうとする意識を醸成するために、「上」が少し苦勞したかもしれませんね。それでも変化が数字に見えるので、出てくるやる気の方が「上」でしたけど。

## 苦勞

## 効果

### 自分たちの実態を把握できるようになりました

目標にしていた「環境と言えば木下緑化」というイメージは、地域や取引先で定着してきたように感じます。緑のリサイクルを旨にした当社は、もともと循環型の業態を持っていました。環境省推奨のエコアクション21に取り組み、社外にアピールしてきたことでブランド化されて、おかげで屋上緑化の受注率も高くなってきた気がします。社内に目を向けると、これまで概算で捉えていた経費なども、費目・科目を分けて考えるようになるなど、自分たちの実態を把握できるようになったのも、エコアクション21のおかげだと思っています。



屋上緑化施工例  
(ホルトホール大分)

## 木下緑化建設株式会社 (代表取締役社長 木下 浩市)

本社：福岡県福岡市南区長丘3丁目13番27号

設立：1967年2月9日

資本金：4,500万円

- 事業内容：1. 公共緑地・街路緑地 4. 庭園運営業務・指定管理者・緑地管理  
2. 街路計画・住宅外構・ビル緑地・個人庭園 5. リサイクル事業  
3. 屋上緑化・壁面緑化・駐車場緑化 6. 樹木生産



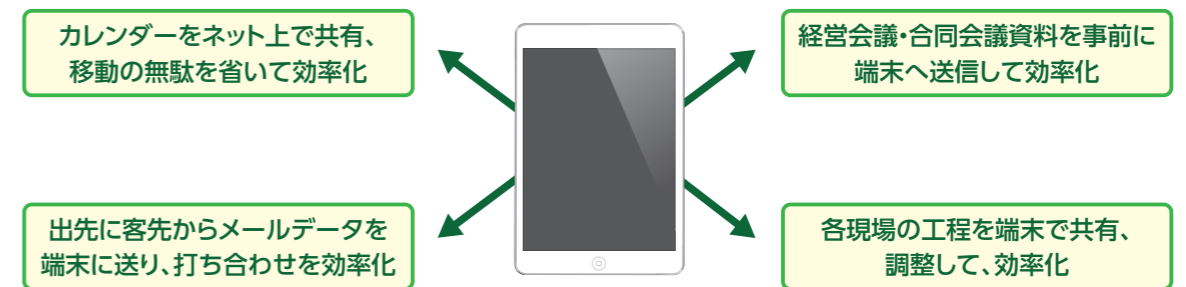
EA21認証・登録番号:0006924

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0006924.pdf>をご覧ください)

## 環境負荷削減へのユニークな取り組み

省エネでコスト削減。「会社に負担ばかりのしくみではない」と、本業に絡めた環境活動を続けています。

### タブレット端末を駆使した省エネ活動(仕事の効率化)



若手社員から生まれたアイデアは、今の情報化社会にマッチしています。

### レポートづくりのノウハウを本業に転用



会社の環境活動の取り組みをまとめる

各案件の事業計画書をまとめる

資料を分析・まとめる能力が習慣化して、社員のスキルと案件受注確度の向上につながっています。

競合他社との差別化に受賞歴を活用



受賞の栄誉を事業計画書に記載することで、木下緑化のカラーを確立。さらに、緑の空間を創造する会社として信頼度が向上、それが受注に結びついています。

会社の軌跡をまとめる=エビデンスを保存、展開することで、環境活動を企業経営と一体化させています。

## 次の企業へ 応援メッセージ

私ももそうでしたが、面倒と思わずに始めてみるのがいいと思います。しきみは中小に向けた内容ですし、省エネがコスト削減につながるのも実感できます。会社に負担がかかるばかりじゃないということです。そして何より、エコアクション21を認証・取得してから、自社のカラーを社員にも、お客様にも打ち出すことができるようになりました。こうした効果が出てくるのも、エコアクション21のいいところだと思います。